

五
林
131

三伏候入り本年い

殊々尖威の酷烈なるを

覺へし處

尊兄倍所勇健

各所巡歴別所障り

も無く寶之所壯人の所

事え

皇室の御為め國家

の為めを去る賀の臨時

皇室の御為の國家
の爲めを互賀の臨時
議會も所盡力の結果
此の波瀾なく海軍補充
費速議決相成を打祝
いし慢性の宿病も今は
癒えりす上京も不想来
曠職素餐恐懼此事を
遠からす何處かの温泉場
に轉地保養の時元氣
を著し此次の通常議
會前まうこゝ必健康を
回復し上京後度希
望され今後暑氣一
層の相加
尊體厚く所自愛所
禱
奥方様へも暑中
御伺申上る次第
宜しく申上る頭

宜一申上願
時不問方持寸楮
頓首持

七月廿日

直彬

大隈先生
研北